

稲荷木・田尻・鬼高地区の12月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

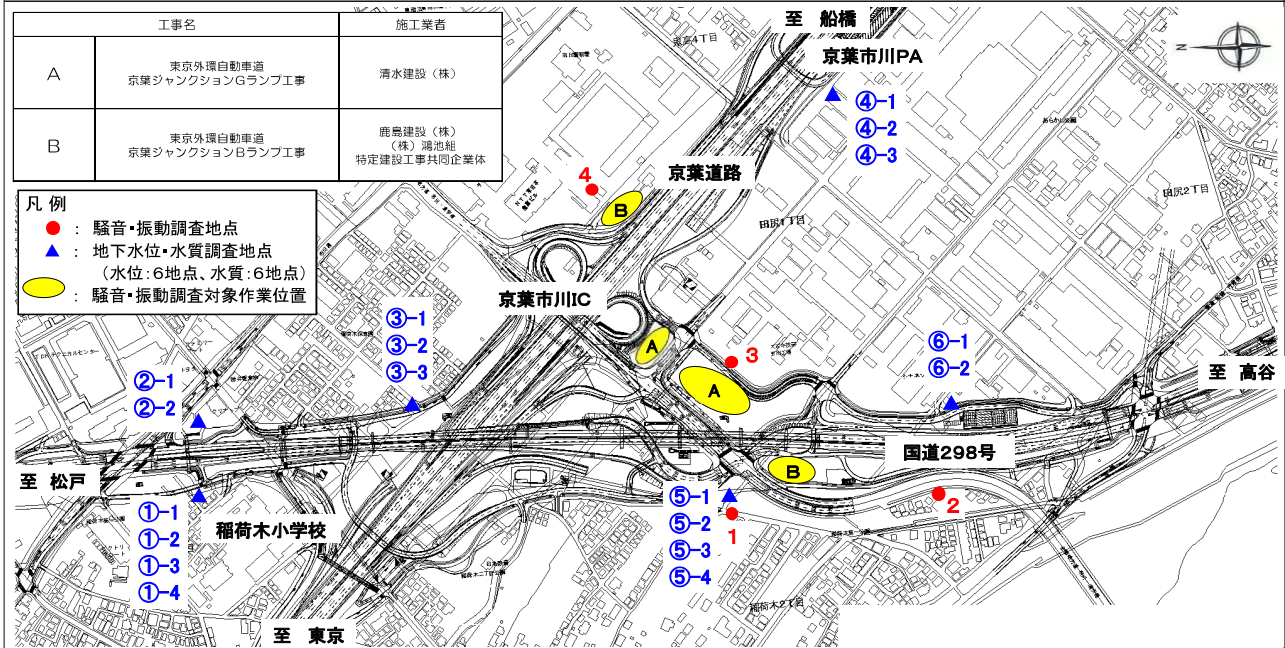
東日本高速道路株千葉工事業務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株

千葉工事業務所 技術課

TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



1.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクションBランプ工事	54	36	12月20日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクションBランプ工事	66	45	12月20日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクションGランプ工事	65	45	12月20日 昼間(8時~17時)
4	京葉ジャンクションBランプ工事	60	41	12月20日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準	特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	85	75	

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

2.地下水質調査結果(採水日:R6年12月24日、25日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.6	7.8	8.1	8.1	8.2	8.3	7.9	7.5	8.2
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2
pH	7.7	8.2	8.1	7.0	7.5	8.0	8.2	7.6	7.6
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

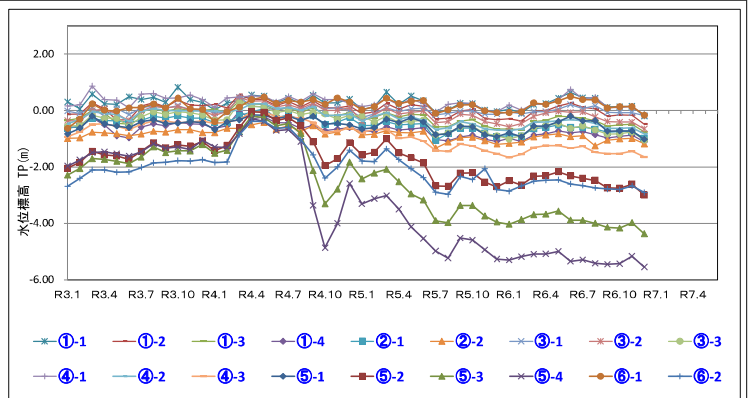
○地下水位の低下が一部で確認されました。
引き続き注視していきます。

調査地点	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
R6	10月	0.140	-0.160	-0.500	-0.910	-0.750	-1.010	-0.080	-0.410
	11月	0.150	-0.170	-0.490	-0.870	-0.730	-0.990	-0.080	-0.760
	12月	-0.200	-0.480	-0.760	-1.110	-0.980	-1.180	-0.180	-1.040
調査地点	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2
R6	10月	0.100	-0.630	-1.530	-0.720	-2.750	-4.170	-5.430	0.140
	11月	0.150	-0.600	-1.440	-0.720	-2.610	-3.970	-5.160	0.140
	12月	-0.180	-0.830	-1.650	-1.020	-2.990	-4.370	-5.650	-0.160

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の1月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

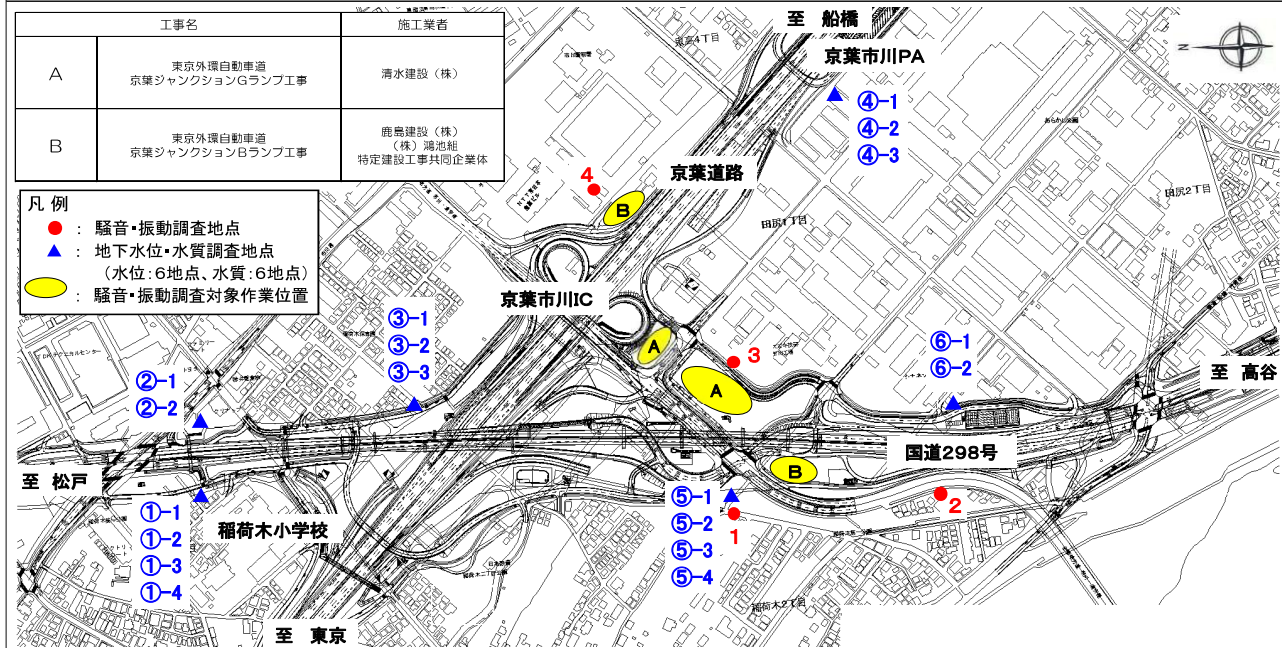
東日本高速道路株千葉工事業所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株

千葉工事業所 技術課

TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



1.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{Aeq} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{Aeq} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	57	35	1月14日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	64	44	1月14日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	63	44	1月14日 昼間(8時~17時)
4	京葉ジャンクション Bランプ工事	58	42	1月14日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

●騒音レベル L_{Aeq}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{Aeq} とします。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} とします。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

2.地下水調査結果(採水日:R7年1月22日、23日)

地下水調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②		③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.3	7.7	8.1	8.0	8.2	8.2	7.6	7.3	8.1
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④				⑤		⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.4	8.1	8.0	6.9	7.3	7.7	8.1	7.4	7.4
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○地下水位の低下が一部で確認されました。
引き続き注視していきます。

①に調査点と注釈してあります。

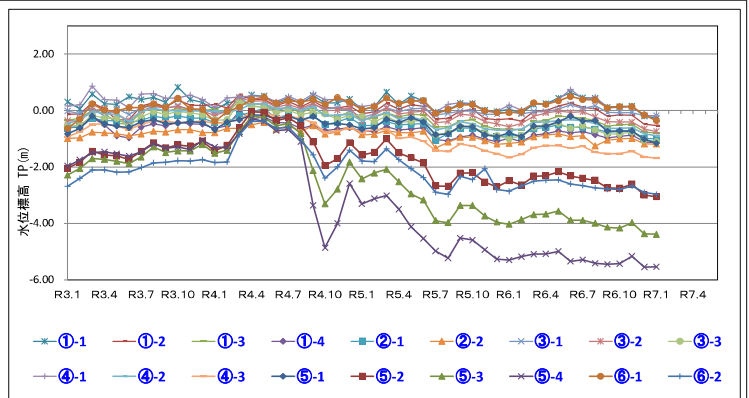
単位：T.P.m

調査地点	①				②		③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
R6	11月	0.150	-0.170	-0.490	-0.870	-0.730	-0.990	-0.080	-0.760
	12月	-0.200	-0.480	-0.760	-1.110	-0.980	-1.180	-0.650	-1.040
R7	1月	-0.280	-0.530	-0.800	-1.160	-1.000	-1.190	-0.190	-0.740
調査地点	④				⑤		⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	
R6	11月	0.150	-0.600	-1.440	-0.720	-2.610	-3.970	-5.160	0.140
	12月	-0.180	-0.830	-1.850	-1.020	-2.990	-4.370	-5.550	-0.160
R7	1月	-0.190	-0.890	-1.690	-1.160	-3.050	-4.390	-5.540	-0.360

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の2月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

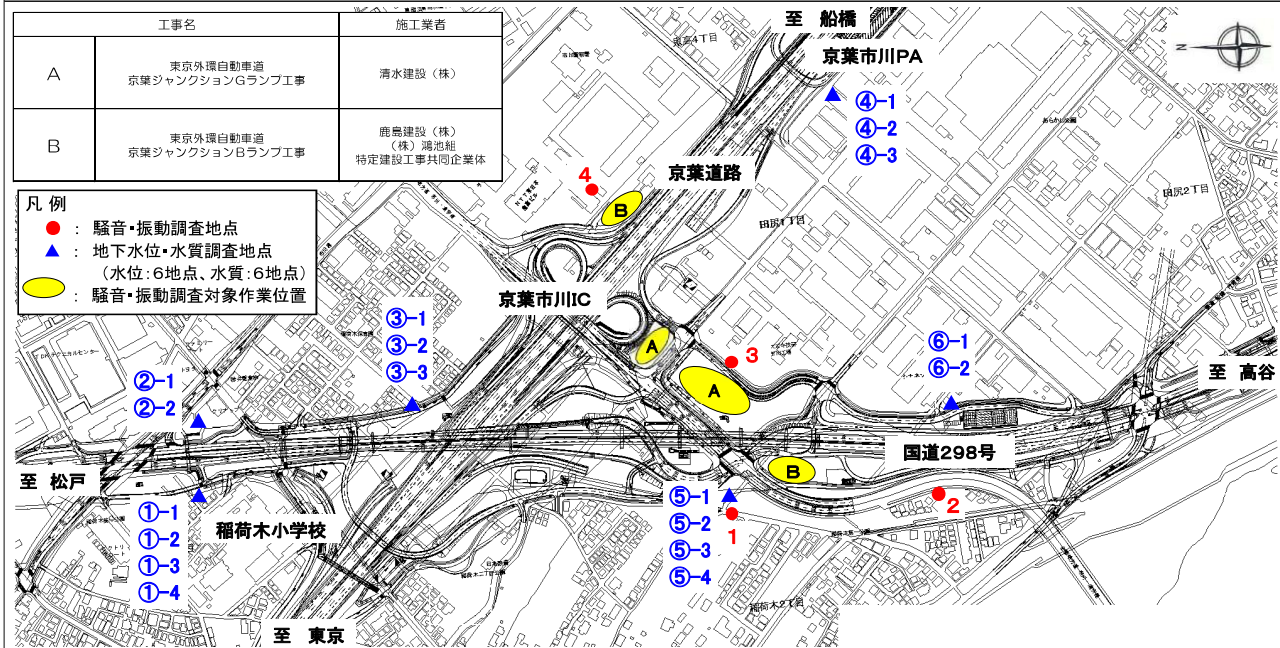
東日本高速道路株千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株

千葉工事事務所 技術課

TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



1.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	54	35	2月18日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	65	44	2月18日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	67	44	2月18日 昼間(8時~17時)
4	京葉ジャンクション Bランプ工事	56	40	2月18日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って 発生する騒音の規制に 関する基準	特定建設作業に伴って 発生する振動の規制に 関する基準	
		85	75	

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

2.地下水調査結果(採水日:R7年2月25日、26日)

地下水調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②		③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	8.0	7.9	8.2	8.2	8.3	8.3	7.9	7.5	8.2
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④				⑤		⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2
pH	7.6	8.3	8.2	7.1	7.5	8.1	8.2	7.6	7.7
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○地下水位の低下が一部で確認されました。

引き続き注視していきます。

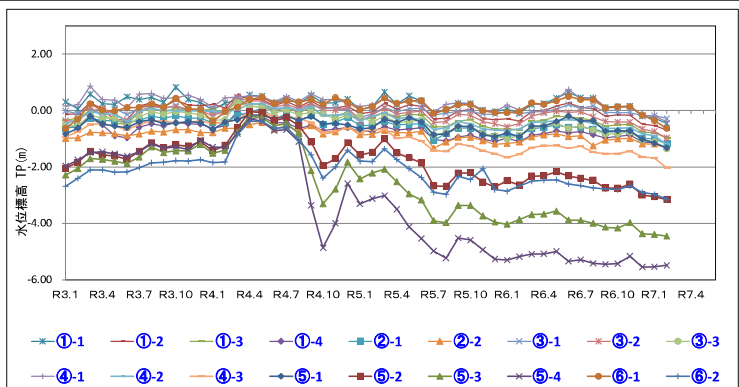
単位: T.P.m

調査地点		①				②		③		
		①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
R6	12月	-0.200	-0.480	-0.760	-1.110	-0.980	-1.180	-0.180	-0.650	-1.040
R7	1月	-0.280	-0.530	-0.800	-1.160	-1.000	-1.190	-0.190	-0.740	-1.100
	2月	-0.450	-0.690	-0.960	-1.300	-1.170	-1.310	-0.280	-0.970	-1.360
調査地点		④				⑤		⑥		
		④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2
R6	12月	-0.180	-0.830	-1.850	-1.020	-2.990	-4.370	-5.550	-0.160	-2.900
R7	1月	-0.190	-0.890	-1.890	-1.160	-3.050	-4.390	-5.540	-0.360	-2.970
	2月	-0.390	-1.190	-2.020	-1.320	-3.150	-4.450	-5.490	-0.630	-3.140

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の3月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

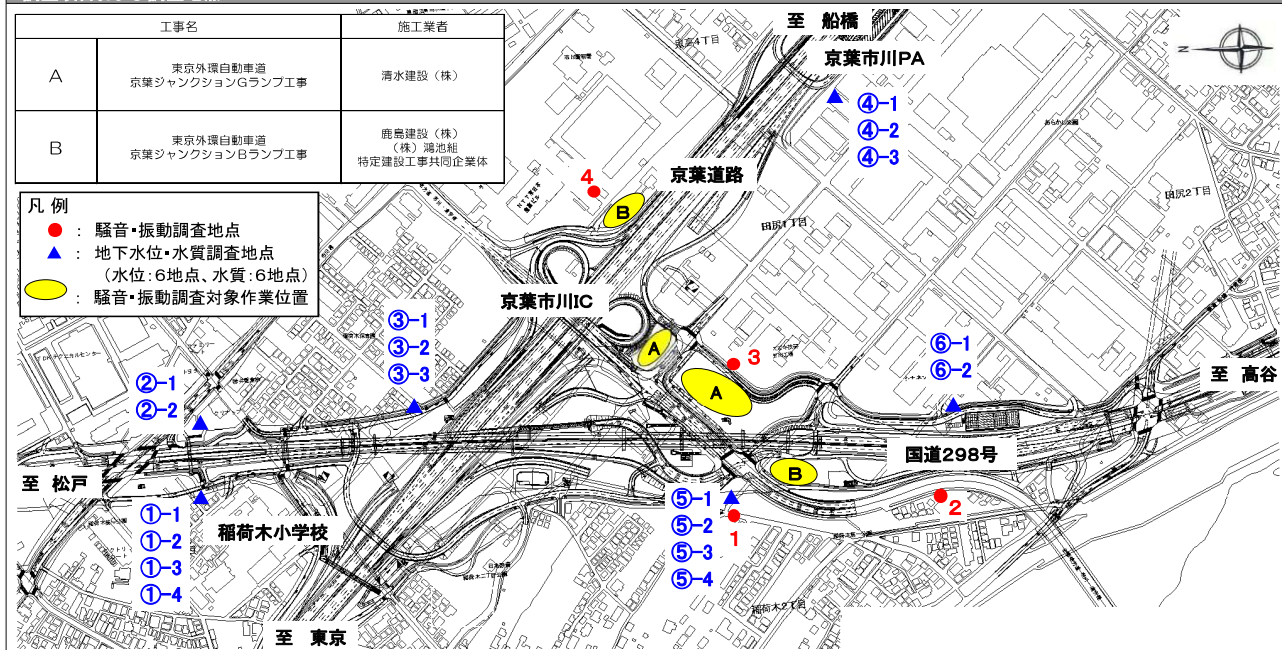
東日本高速道路株千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株

千葉工事事務所 技術課

TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



1.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	54	36	3月26日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	65	45	3月26日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	64	45	3月26日 昼間(8時~17時)
4	京葉ジャンクション Bランプ工事	60	39	3月26日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといふ、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

2.地下水調査結果(採水日:R7年3月25日、26日)

地下水調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②		③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.3	7.3	8.1	8.1	8.2	8.3	7.8	7.4	8.0
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④				⑤		⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2
pH	7.6	8.1	8.0	6.9	7.4	8.0	8.1	7.4	7.5
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○地下水位の低下が一部で確認されました。
引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①				②		③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
R7	1月	-0.280	-0.530	-0.800	-1.160	-1.000	-1.190	-0.190	-0.740
	2月	-0.450	-0.290	-0.960	-1.300	-1.170	-1.310	-0.280	-0.970
	3月	-0.160	-0.550	-0.120	-0.980	-0.820	-1.050	-0.050	-0.460
調査地点	④				⑤		⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4	⑥-1	⑥-2
R7	1月	-0.190	-0.890	-1.890	-1.160	-3.050	-4.390	-5.540	-0.360
	2月	-0.390	-1.190	-2.020	-1.320	-3.150	-4.450	-5.490	-0.630
	3月	-0.150	-0.770	-1.730	-0.720	-2.630	-4.080	-5.380	-0.180

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

